

# 『軽症潰瘍性大腸炎の病院と診療所の パス連携診療が始まりました』



\* パス（連絡ノート）を用いた連携で、患者さんの状態が、病院と診療所の二人の主治医の間で共有されます。

\* 自宅、職場、学校に近く、待ち時間の短い診療所で診察や投薬が受けられます。

\* 土曜日や平日午後の診療が受けられるので、仕事や学校を休まずにすみます。

\* 診療所に定期的に通い、病院には年1回受診をします。

\* 病状悪化時には、診療所より連絡を行い病院での診察が受けられます。

🏠 パス連携診療をご希望の方や、詳しくお話を聞きたい方はお気軽に主治医にお尋ねください。

